

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証資料(R5実施計画分)

No	事業名	事業内容(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	総事業費 (A)=(B)+(C)+(D)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	進捗	効果検証等					
				交付金充当 経費(B)	国庫補助額 (C)	その他(一般財源や 補助対象外経費等) (D)				事業費 執行率	実施結果	成果目標 【確認用】	達成状況 【確認用】	評価等	
1	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業【低所得者世帯給付金】	①コロナ禍におけるエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた低所得世帯等に給付金を交付することで、当該世帯の生活を支援する。 ②給付金 ③給付金 1,848世帯×30,000円 ④令和5年度分の住民税均等割非課税世帯	健康福祉課	55,440,000	55,440,000	0	0	R5.6.5	R5.11.28	完了	100%	事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、コロナ禍における物価高騰の影響を受けている低所得世帯に対し、経済的な支援をすることができた。
2	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業(事務費)	①コロナ禍におけるエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた低所得世帯等に給付金を交付することで、当該世帯の生活を支援する。 ②専任職員人件費、消耗品費・印刷製本費、通信運搬費・手数料、委託料 ③積算根拠は以下のとおり 会計年度任用職員給料 161,600円×7月 会計年度任用職員および正職員時間外勤務手当 2,500円×400時間 会計年度任用職員社会保険料 25,361円×7月 消耗品費(印刷用紙・フリンター等) 24,640円×一式 印刷製本費(封筒・確認書等) 145,860円×一式 通信運搬費(郵送料等) 4,400円×(84円+99円) 口座振込手数料 110円×1,980件 委託料(システム改修・書類作成・封入作業等) 625,020円×一式 ④令和5年度分の住民税均等割非課税世帯	健康福祉課	1,702,537	1,702,537	0	0	R5.6.5	R6.2.8	完了	41%	総事業費が計画を下回る実績となったが、それ以外は事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	コロナ禍における物価高騰の影響を受けている低所得世帯等に対し、給付金を支給する体制を整えることで、円滑な支援をすることができた。
3															
4															
5															
6															
7	益子町省エネ家電製品購入費補助金	(事業No.7と19は同一事業) ①コロナ禍において電気料金高騰の影響を受ける世帯が、省エネ性能に優れた家電製品へ買い換えをする際の購入費を補助することにより、町民のエネルギー費用負担を軽減する。 ②益子町省エネ家電製品購入費補助金 ③10,005千円(補助率1/4、上限50千円、253世帯)のうち9,905千円 ④全住民	環境課	9,905,000	9,409,750	0	495,250	R5.6.16	R5.9.28	完了	100%	事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、事業の目的であるコロナ禍における電気料金高騰の影響を受ける対象者のエネルギー費用負担の軽減につなげることができた。
8	益子町配合飼料高騰対策支援事業補助金	①コロナ禍における配合飼料高騰等の影響を受けている町内の酪農・畜産事業者等に対して飼料価格上昇分を補助し、事業継続及び経営安定化への支援を図る。 ②配合飼料高騰対策支援事業補助金 ③配合飼料:2,100円/t 補助対象数量:3,640.5t 2,100円×3,640.5t=7,645,050円≒7,645,000円(千円未満切捨)ーA 粗飼料(乳用牛):10,000円/頭 補助対象頭数:414頭 10,000円×414頭=4,140,000円ーB 粗飼料(肉用牛):2,000円/頭 補助対象頭数:87頭 2,000円×87頭=174,000円ーC A+B+C=11,959,000円(14名) ④町内における酪農・畜産事業者	農政課	11,959,000	11,361,050	0	597,950	R5.9.6	R5.11.20	完了	100%	事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	町内総生産目標 570億円(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (493億円)	成果目標は未達成だったが、事業の目的であるコロナ禍における飼料価格高騰の影響を受ける対象者に対して事業継続及び経営安定化への支援をすることができた。
9	益子町施設園芸用燃油価格高騰対策支援事業補助金	①コロナ禍における原油価格高騰の影響が大きい施設園芸農業者等に対して、農作物生産に要した燃料費の一部を助成し、事業継続及び経営安定化への支援を図る。 ②益子町施設園芸用燃油高騰対策支援事業補助金 ③総事業費:6,000千円(補助対象30名) 補助率:1/2 6,000千円×1/2=3,000千円 ④町内における施設園芸農業者等	農政課	2,097,000	1,992,150	0	104,850	R5.8.22	R6.1.18	完了	70%	総事業費が計画を下回る実績となったが、それ以外は事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	町内総生産目標 570億円(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (493億円)	成果目標は未達成だったが、事業の目的であるコロナ禍における原油価格高騰の影響を受ける対象者に対して事業継続及び経営安定化への支援をすることができた。
10	益子町土地改良施設電力価格高騰対策支援金	①農業者が構成員となる土地改良区における農業水利施設のコロナ禍における電気料金高騰に対する支援 ②益子町土地改良施設電力価格高騰対策支援金 ③電気料金増額分の1/2 3,200千円×1/2=1,600千円 ④益子町土地改良区	農政課	69,000	65,550	0	3,450	R6.1.26	R6.2.8	完了	4%	交付金充当額が計画を大きく下回る実績となったが、事業内容(実施計画)に沿って事業を実施でき、当初の目的を達成できた。	町内総生産目標 570億円(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (493億円)	当初計画後に国の経済対策と県の補助事業が行われ、その残額に対して補助したため、執行率は低くなったが、土地改良区に対して支援をすることができた。
11	緊急経済対策事業者等支援金(第4回)	①コロナ禍におけるエネルギー価格高騰の影響を受けた町内事業者の負担緩和のため、個人事業主3万円、法人5万円の支援金を交付し、支援を行った。 ②益子町緊急経済対策事業者支援金 ③30千円×378件、50千円×193件、事務委託費330千円 ④町内事業者	観光商工課	21,320,000	18,978,269	0	2,341,731	R5.8.10	R6.1.9	完了	100%	事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、事業の目的であるコロナ禍におけるエネルギー価格高騰の影響を受ける町内事業者に対して支援をすることができた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証資料(R5実施計画分)

No	事業名	事業内容(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	総事業費 (A)=(B)+(C)+(D)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	進捗	効果検証等					
				交付金充当 経費(B)	国庫補助額 (C)	その他(一般財源や 補助対象外経費等) (D)				事業費 執行率	実施結果	成果目標 【確認用】	達成状況 【確認用】	評価等	
12	プレミアム商品券発行事業	①コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響は、町民の経済的な困窮を招くだけでなく、地域経済にも影響を与え、町内事業者にも経済的疲弊を招いている。そこで、町民や町内事業者を支援するためのプレミアム付商品券を発行し、生活の安定と地域経済の活性化を図る。 ②プレミアム商品券発行事業補助金 ③プレミアム分8,000千円、事務手数料1,000千円 ④益子町商工会、全住民	観光商工課	9,054,190	8,601,481	0	452,709	R5.7.7	R6.3.28	完了	101%	総事業費が計画を上回る実績となったが、それ以外は事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける対象者に対する生活の安定と地域経済の活性化を明かすことができた。
13	プレミアム商品券発行事業 (上乗せ分)	①コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響は、町民の経済的な困窮を招くだけでなく、地域経済にも影響を与え、町内事業者にも経済的疲弊を招いている。そこで、町民や町内事業者を支援するためのプレミアム付商品券を発行し、生活の安定と地域経済の活性化を図る。 ②プレミアム商品券発行事業補助金 ③プレミアム分5,000千円 ④益子町商工会、全住民	観光商工課	5,026,977	4,775,628	0	251,349	R5.7.7	R6.3.28	完了	101%	総事業費が計画を上回る実績となったが、それ以外は事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、コロナ禍におけるエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける対象者に対する生活の安定と地域経済の活性化を明かすことができた。
14	給食費助成事業	①コロナ禍における物価高騰による小中学生の保護者の負担を軽減するため、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により増加した食材購入費の一部を町が負担することにより、学校給食費の増額を抑制するとともに、これまでどおりの栄養バランスや分量を維持する。 ②高騰した分の食材購入費(教職員は除く) ③小学校 200円×11か月×1,033人 中学校 400円×11か月×607人 ④益子町学校給食センター運営委員会(児童生徒保護者等)	学校教育課	4,725,200	4,488,940	0	236,260	R5.4.1	R6.3.31	完了	96%	総事業費が計画を下回る実績となったが、それ以外は事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、コロナ禍における物価高騰の影響を受ける対象者に対し、経済的な支援ができた。
15	給食費助成事業(上乗せ分)	①コロナ禍における物価高騰による小中学生の保護者の負担を軽減するため、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により増加した食材購入費の一部を町が負担することにより、学校給食費の増額を抑制するとともに、これまでどおりの栄養バランスや分量を維持する。 ②高騰した分の食材購入費(教職員は除く) ③小・中学校 200円×11か月×1,640人 ④益子町学校給食センター運営委員会(児童生徒保護者等)	学校教育課	3,505,000	3,329,750	0	175,250	R5.4.1	R6.3.31	完了	97%	総事業費が計画を下回る実績となったが、それ以外は事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、コロナ禍における物価高騰の影響を受ける対象者に対し、経済的な支援ができた。
16	給食費助成事業(保護者負担軽減分)	①コロナ禍における物価高騰による小中学生の保護者の負担を軽減するため、食材購入費の一部を町が負担するとともに、これまでどおりの栄養バランスや分量を維持する。 ②高騰した分の食材購入費(教職員は除く) ③小・中学校 1,000円×8か月×1,640人 ④益子町学校給食センター運営委員会(児童生徒保護者等)	学校教育課	12,733,950	12,097,253	0	636,697	R5.7.1	R6.3.31	完了	97%	総事業費が計画を下回る実績となったが、それ以外は事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、コロナ禍における物価高騰の影響を受ける対象者に対し、経済的な支援ができた。
17	給食費助成事業(補正予算分)	①コロナ禍における物価高騰による小中学生の保護者の負担を軽減するため、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により増加した食材購入費の一部を町が負担することにより、学校給食費の増額を抑制するとともに、これまでどおりの栄養バランスや分量を維持する。 ②高騰した分の食材購入費(教職員は除く) ③小学校 167円×7か月×1,033人 中学校 187円×7か月×607人 ④益子町学校給食センター運営委員会(児童生徒保護者等)	学校教育課	1,936,873	1,840,029	0	96,844	R5.9.1	R6.3.31	完了	97%	総事業費が計画を下回る実績となったが、それ以外は事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、コロナ禍における物価高騰の影響を受ける対象者に対し、経済的な支援ができた。
18	公共交通等燃料費高騰対策交付金	①コロナ禍におけるエネルギー価格高騰の影響を受ける地域公共交通事業者への事業継続のための支援 ②公共交通等燃料費高騰対策交付金 ③デマンドタクシー 3事業者×70,000円/半期×2 高速バス 1事業者×500,000円/半期×2 路線バス 1事業者×250,000円/半期×2 鉄道 1事業者×257,000円/年 ④デマンドタクシー運行事業者、高速バス運行事業者、路線バス運行事業者、真岡鐵道	企画課	2,177,000	2,068,150	0	108,850	R5.8.10	R6.3.18	完了	100%	事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	住みやすい住環境と感じる割合 72.0%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	達成 (78.8%)	成果目標を達成でき、地域公共交通の事業継続に向け、経済的に支援することができた。
19	益子町省エネ家電製品購入費補助金	(事業No.7とNo.19は同一事業) ①コロナ禍において電気料金高騰の影響を受ける世帯が、省エネ性能に優れた家電製品へ買い換えをする際の購入費を補助することにより、町民のエネルギー費用負担を軽減する。 ②益子町省エネ家電製品購入費補助金 ③10,005千円(補助率1/4、上限50千円、253世帯)のうち100千円 ④全住民	環境課	100,000	100,000	0	0	R5.6.16	R5.9.28	完了	100%	事業内容(実施計画)に沿って事業を実施できた。	「幸せな暮らしと 感じる人」の割合 86.8%(第3期まし こ未来計画に同 じ)	未達成 (86.7%)	成果目標は未達成だったが、事業の目的であるコロナ禍における電気料金高騰の影響を受ける対象者のエネルギー費用負担の軽減につなげることができた。
合計				141,751,727	136,250,537	0	5,501,190								